

# 大学教育の質保証に関する考察 — 課題と展望 —

## 文部科学省中央教育審議会大学分科会 質保証システム部会（第3回）2020.08.31

### ===目次===

1. 設置基準・設置審査の課題
2. 教育の質保証の課題と展望
3. 内部質保証の取組みと課題
4. 機関別認証評価と分野別認証評価の課題
5. 質保証向上に向けた情報公表
6. まとめ

一般社団法人国立大学協会 副会長（金沢大学長）  
山崎 光悦

1

## 背景 高等教育の課題と改革の方向性

### ◆少子化を踏まえ20年後の高等教育の在り方を見据えて

- ・量的拡大から**自然淘汰を待たない質的再編**へ  
教育内容の適切化・自由化（不易流行）、質保証と効率化、学修の実質化・高度化など  
⇒ 低成長・資源の制約下で、**知識基盤社会で活躍**する人材育成  
⇒ 一極集中を避け、**地方創生・社会変革を先導**する人材育成

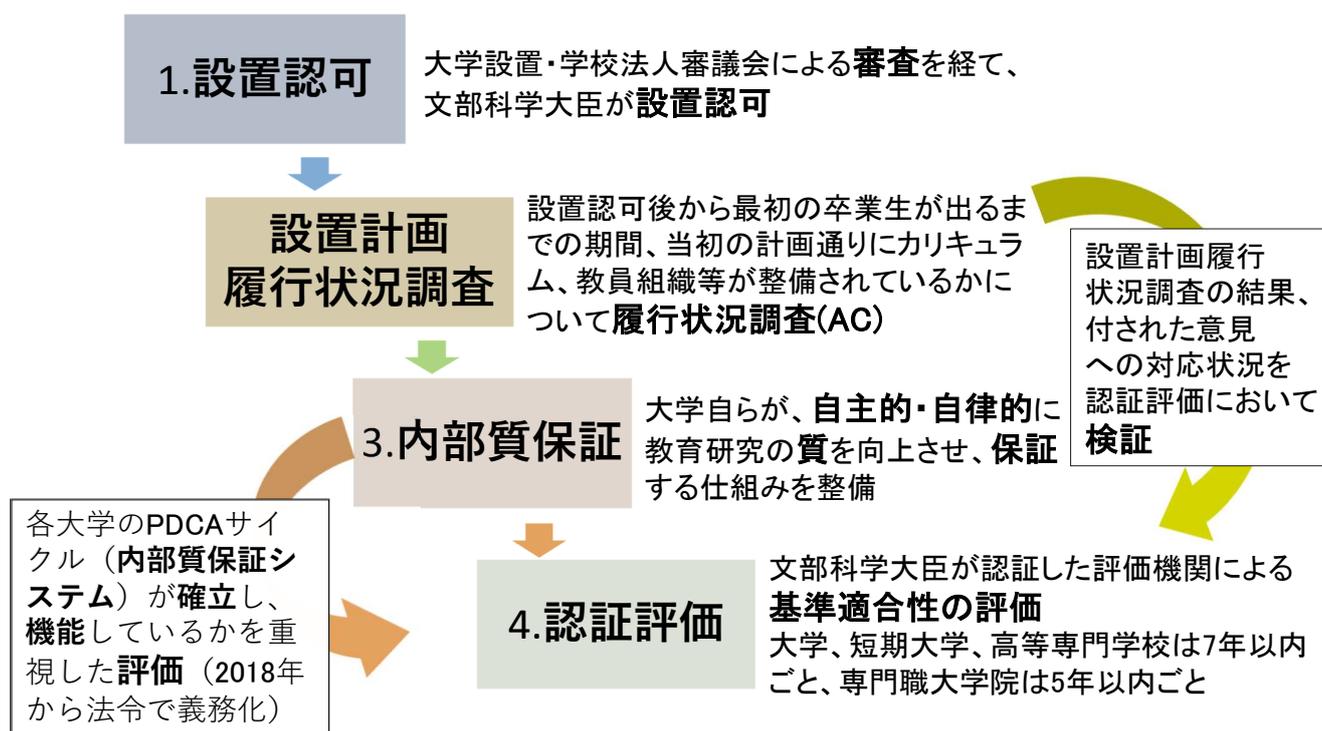
### ◆地方国立大学の役割（指定国立大学と対比して）

- ・日本各地域に配置された地方創生の中核をなすべき**唯一無比の国有資源**
- ・**地域に必要な人材育成・供給**（教員、医師、地方公務員など）と地域も包含した我が国の**産業競争力・国際競争力を支える人材供給**（モノづくり技術者、通信・ICT人材、サービス人材、国家公務員、研究者など）  
⇒ 文系・理工系・生命系分野の原資を活用した**地方創生に資する人材育成**  
への**転換・再構築、定員抑制の緩和、留学生の定員別枠化**

2

# 日本の質保証システム

## —設置認可から認証評価まで—



永田恭介先生、高等教育質保証学会基調講演資料を一部修正

3

## 1. 設置基準・設置審査の課題

### ◆コロナ禍を踏まえた新たな教育方法への転換を期待

Webによる遠隔授業、オンデマンドによる予習を前提とした反転授業・アクティブラーニング、ディベート中心の**深く考える能力育成**へのシフト  
・知識埋め込み型教育からの脱却

⇒ 遠隔授業、ハイブリッド授業の**教育効果検証**、**単位認定基準の見直し**・再定義、**単位数上限の緩和**、**DDP/JDPへの適用の可否**（上限設定）

### ◆設置審査、設置計画履行状況調査（AC）の観点から

⇒学位と教育内容の紐づけ・統一化、文理融合・異分野融合に相応しい**学位の設定・標準化**が必要ではないか？

⇒**質保証・水準のチェック**を中心とする審査内容・体制へのシフト必要

⇒学士・大学院課程の**複数専任化**と**エフォート管理**による自由度の付与

⇒文理融合分野の設置審査体制整備・専門委員会の新設

⇒教育内容と学位授与を支える研究力に関する審査も（教員個々の研究力に基づく審査に加えて、各部局や大学全体の研究力からも）

4

## 2. 教育の質保証の課題と展望

### ◆ 専門的知識とスキルの到達度・専門分野別基準

国家試験の整備された専門分野での標準カリキュラム化（縛り過ぎ）、  
その他分野では自由・独自に教育内容を標準化 ⇒ その有効性と功罪

### ◆ 人格形成に必要な教養と国際性

人間性を磨く 向上意欲 経験欲と思考力

### ◆ 生涯学び続ける学習継続性

自立的・自主的に学びを深める態度を醸成する教育法の開発、教え込む  
教育 ⇒ 学生自らの学びを育み支える教育への転換、コロナショックを  
経て不連続な変革、ジャンプアップが必要ではないか？

### ◆ 考え抜く力の醸成

ディプロマポリシーと卒業・修了チェック、マイルストーンとしての  
卒研・修論、ドク論と若手PIの育成など

#### 課題1 質保証の外形評価偏重・形骸化

シラバスや授業評価アンケート、満足度チェック等

#### 課題2 真に学びを深める教育・クラス運営を目指すべき

学生自身が着実な学びの軌跡と成長、到達度が実感できる  
指標の開発、見える化等

5

## 3. 内部質保証の取組みと課題

### ◆ 内部質保証の原則 外部評価からの脱却、学修成果の測定・評価 (ラーニングアウトカム・アセスメント)を基本

原則1 分野別・プログラム単位の認証評価の積上げが基本、体制整備

原則2 学生の学修成果・学びの軌跡と成長、満足度を可視化

⇒それを標準化して公表できるデータにする研究開発が必要では？

⇒学修成果獲得プロセスを教員の教育力向上にどう結び付けるか？

原則3 大学全体、学位プログラム単位、個々の授業科目それぞれの

レベル・階層で質向上のPDCAサイクルが機能する内部システムの構築

⇒FDの形骸化（賢い行政官はすぐ数値で評価したがる）

原則4 内部質保証システムが機能しているかを外部からの認証評価等に

よって定期的に検証、改善を促す仕組みの確立

### ◆ 内部質保証体制整備

課題1 自己点検評価の標準化とそれを活用した内部質保証システム、

機能の構築・定着 ⇒ 自律規範の導入と自律的検証（ガバナンスコード？）

課題2 内部質保証のPDCAサイクルが機能しているかの検証？

課題3 教育水準の担保が必要ではないか？

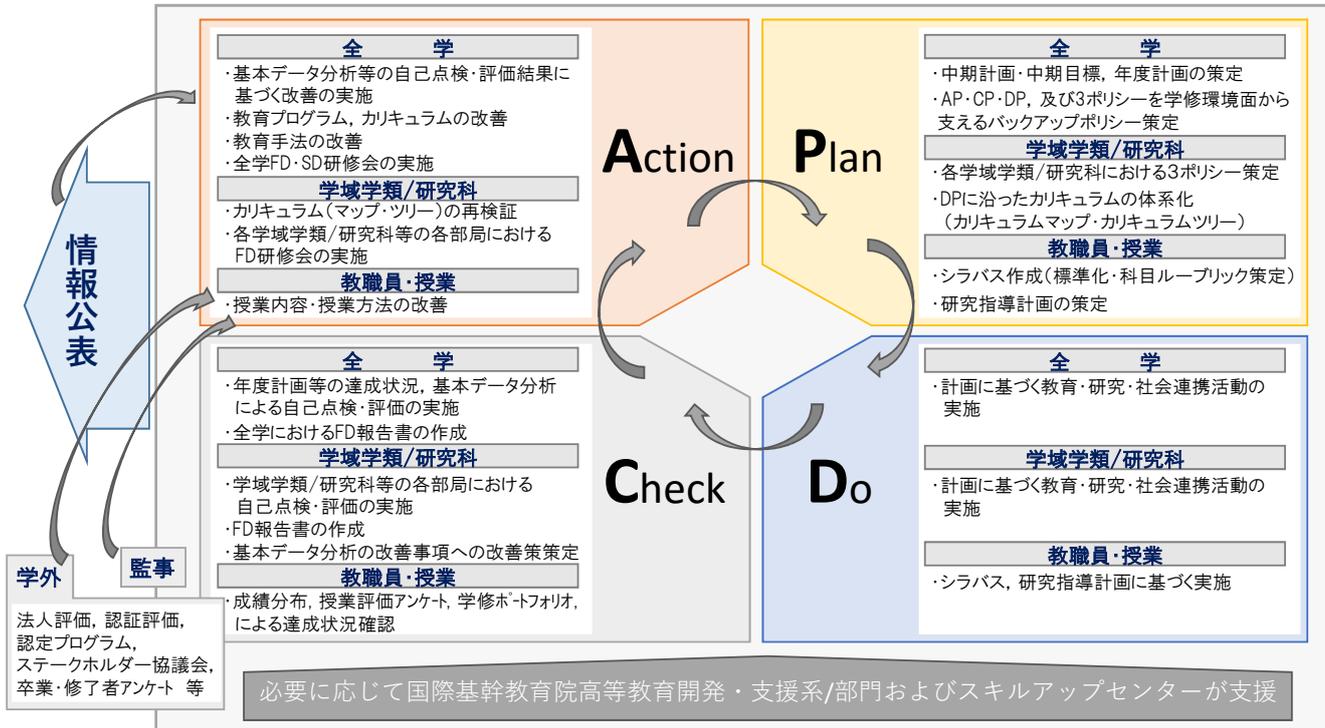
⇒欧州エラスムス・ドゥスのように水準を認め合う相互認証が理想

6

# 内部質保証の取組み例（金沢大学の事例）

## 多層的かつ多元的な内部質保証

- 全学/各部局における自己点検・評価に加え、学外からのチェック機能を活用することにより、多層的かつ多元的な質保証向上の仕組みを構築。



7

## 4. 機関別認証評価と分野別認証評価の課題

### ◆大学基準協会（JUA）役員等の経験から

- 機関別認証評価は設置基準への適合性評価（事後評価）を中心に！  
大学評価基準の共通事項以外に、特色ある教育活動を積極的に促進する機能が必要！

⇒ 認証機関間の評価水準・厳格さの統一が必要ではないか？

⇒ 真の質保証になり得ているか？

（A評価機関で不適合でも、B評価機関で適合？）

法人評価と機関別認証評価、分野別認証評価のダブリは避けるべし・  
疲弊感の払拭

- 外国からの留学生・就労人材受入れ、単位互換のため**国際通用性の確保** ⇒ 機関別・分野別**国際認証**の必要性
- 専門職大学、専門職大学院が乱立 ⇒ **分野・系統の整理・認証評価の効率化**
- 次々と設立される専門職大学、専門職大学院分野ごとに審査基準、専門委員会を設置する非効率的な運営を改善すべき。科研費審査分野のように**大括りの審査委員プールの設置**など
- 法科大学院・教職大学院の認証基準 ⇒ 社会的・現代的課題への対応の遅れ？

機関別種類	評価機関名
大学	大学基準協会 大学改革支援・学位授与機構 日本高等教育評価機構 大学教育質保証・評価センター
短大	短期大学基準協会 大学基準協会 日本高等教育評価機構
高等専門学校	大学改革支援・学位授与機構

### ◆分野別認証評価（JABEEなど）審査・受審の経験から

- 分野別認証評価が機関別認証評価の教育研究活動の質的向上を代替！
- 審査員の育成と審査の公平性担保、審査員育成訓練と審査員プール
- 基準原則と教育自由度導入のバランス、特色の醸成
- 事務局機能の充実、新分野評価への対応の遅れ

8

# 日本の大学の質保証をめぐるJUAAの取組み事例

- ◆ 学位の国際通用性と国際的質保証
- ◆ 台湾評鑑協会との国際相互認証評価
  - ・ 国際通用性ある評価法の研究開発
  - ・ 国際教養大学・嘉南薬理大学
- ◆ 大学間交流の促進 JDP/DDP



## 5. 質保証向上に向けた情報公表

### 多岐にわたる大学の取組みに関する情報公表

- ・ 多様なステークホルダーに支えられる国立大学として、大学経営、教育・研究・社会連携活動等に関する様々な情報を分かりやすく発信することが必要。
- ・ 多岐にわたる活動それぞれに関わるステークホルダーに応じた情報公表の取組みを通じて、大学への理解と信頼を獲得。

### ステークホルダー協議会の開催（金沢大学の取組み事例）

平成27年度から、自治体・企業等関係者、地域住民、高校等教育機関、卒業生、在学生・保護者等のステークホルダーが一堂に会する「ステークホルダー協議会」を継続的に実施。本学の教育・研究及び運営状況等を報告した上で、意見や要望等を伺い、**大学運営等の改善及び機能強化に反映。**



(左) 配付している小冊子「私たちの金沢大学」  
(右) ステークホルダー協議会の様子

[意見・要望等を踏まえた取組みの一例]

- ・ 国際協力機構（JICA）との連携協定締結
- ・ 地域創生に資する学類における教育研究成果の地域への還元
- ・ 教育研究施設の改修 など

H28年度評価に際し、国立大学法人評価委員会から、各法人の優れた点や強み・特色が発揮されている点が認められ、かつ、成果が確認できる「注目すべき点」として高く評価

### 新入生の保護者懇談会の開催（金沢大学の取組み事例）

平成29年度から、本学の学域/学類1年生の保護者の方を対象として、本学や各学類の教育、進路状況等について説明し、本学の教育における基本方針等に対する理解をいただく「新入生の保護者懇談会」を開催。学生の大学生活が有意義なものになるよう、**保護者との連携、信頼関係を構築。**



## 6. まとめ

### 1. 設置基準、設置審査の課題

- ・文理融合分野等、新分野の審査体制整備
- ・専門職学部・専門職大学院の審査体制の大括り化
- ・ICTを活用した遠隔授業等の単位数基準の見直し など

### 2. 質保証の仕組みを支える機能と役割

- ・大学設置基準、設置認可審査（事前チェック）、内部質保証、認証評価（事後チェック）間のバランス

### 3. 内部質保証の課題

- ・自己点検評価の標準化と内部質保証システムの構築
- ・内部質保証のPDCAサイクルが機能しているかの検証？
- ・教育水準の担保

### 4. 認証評価の課題

- ・認証機関間の評価水準・厳格さの統一
- ・機関別・分野別国際認証

### 5. 情報公表の促進 大学の教育研究活動等をステークホルダーへ